

「大正イマジュリィ学会」第44回研究会

第8回国際シンポジウム「戦間期東アジアにおける大衆的図像の視覚文化論」

日時：2018年12月15日（土）13:00～17:30

場所：同志社大学今出川校地・良心館305室

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/imadegawa.html>

プログラム

- 13:00～13:30 趣旨説明：「戦間期東アジアにおける日本製品広告の視覚文化論」
岸文和（同志社大学文学部教授）
- 13:40～14:10 基調講演：「日本人画家による支那服表象の系譜」
劉建輝（国際日本文化研究センター副所長・教授）
- 14:10～14:40 研究発表1：「『盛京時報』における医薬広告の絵画記号論的研究」
孫秀蕙（台湾国立政治大学広告系教授）
翻訳 王婧瑜（同志社大学大学院社会学研究科）
通訳 丁偉偉（同志社大学社会学部嘱託講師）
- 14:40～15:10 研究発表2：「日治戦争期間(1918-1939)の商品広告における台湾図像について」
姚村雄（台湾国立高雄師範大学視覚設計系教授・芸術学院院長）
翻訳・通訳 施燕（関西大学博物館学芸員）
- 15:10～15:20 休憩
- 15:20～15:50 研究発表3：「『華文大阪毎日』の広告に関する視覚文化論」
湯筠冰（中国復旦大学芸術設計系准教授）
翻訳・通訳 汪文磊（同志社大学大学院文学研究科）
- 15:50～16:20 研究発表4：「民国期中国のヴィジュアル・デザインに見る外国作品からの影響」
田島奈都子（青梅市立美術館学芸員）
- 16:20～16:30 休憩
- 16:30～17:30 パネルディスカッション
司会 高畠麻子（高畠華宵大正ロマン館主任学芸員）
- 18:00～20:00 懇親会

主催：大正イマジュリィ学会

国際日本文化研究センター機関拠点型基幹研究プロジェクト「大衆文化の通時的・国際的研究による新しい日本像の創出」

広告レトリック研究会（科学研究費助成事業〔基盤研究C〕研究代表者・岸文和）

後援：一般社団法人美術フォーラム21